

液化室だより

東大物性研究所 <http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/labs/cryogenic/>

高圧ガスボンベの問い合わせ先

低温液化室では様々なサービスを提供していますが、スムーズな対応を行う為に、連絡先を分けてあります。今一度ご確認の上、連絡先を間違えないようにして下さい。また、問い合わせ等は、時間内をお願いいたします。

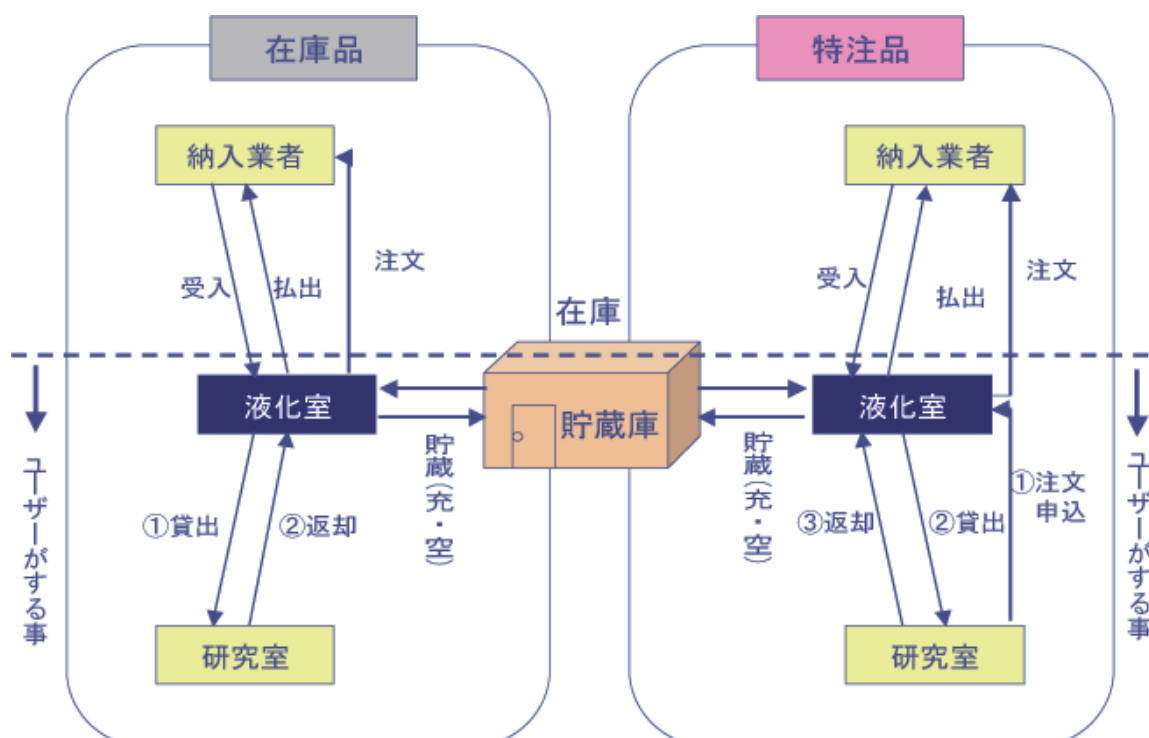
低温液化室は、9：00から17：00まで開室しています。
(お昼休み12時～13時、土、日、祝日、閉室日を除く)。

高圧ガスボンベ関係

取扱時間 10：00～16：00
連絡先(内線) 63514

※1 柏キャンパス高圧ガス管理システムは、24時間稼働していますが、注文等の対応は、上記時間内に行うこととなります。ボンベの注文は余裕をもって行って下さい。

※2 緊急時等やむを得ない場合には、時間外でも対応しますが、液化室員が不在の場合もあります。



裏も読んでね♪

問い合わせ [E-mail:ekika-gas@issp.u-tokyo.ac.jp 内線:63514]

He液化設備の更新

今年度から来年度にかけて、ヘリウム液化・回収設備の大幅な更新(新設・改修等)を行います。

今回の更新は、液化機的能力向上はもちろん、液体ヘリウムやヘリウムガスの貯蔵量の増加と液化設備の二重化などにより、液体ヘリウムの安定生産※1・安定供給、及び貴重な資源であるヘリウムガスの保持※2を目指したものです。

また、人手不足を補う為に、運転・供給業務が柔軟に行えるようなシステムになるように考えています。



長尺カードル設置場所

更新が全て終わると、液化能力は230L/h(純ガス運転時)と200L/h(純ガス運転時)、液体ヘリウムの最大貯蔵量は、6,000Lから10,000Lに、ヘリウムガスの最大貯蔵量は、現状の2.5倍の11,250立方メートルになる予定です。

更新工事に関する情報は適宜お知らせしますが、更新する主要設備、及び工事のおおよその時期を下記に示します。

更新工事に伴う液体ヘリウムの供給停止は、極力行わない予定ですが、やむを得ず供給停止となってしまう場合には、事前に連絡いたしますのでご協力をお願いします。

[2009年度～2010年度 主要な更新設備一覧]

新設・更新	設備	型番、規格など	工事時期
新設	長尺カードル用基礎工事		2010.02
新設	長尺カードル	内容積500L長尺容器 45本	2010.03
		内容積500L長尺容器 45本	2010.08
更新	液体ヘリウム貯槽	液体ヘリウム貯蔵量 10,000L	2010.10～11
更新	ヘリウム液化機	LINDE社製 L280	2011.01～
新設	液化用圧縮機	KESER社製	2011.03

※1 液化機+圧縮機が2セットになるので、液化ラインが完全に二重化され、故障やメンテナンスが同時に起きない限り液化運転が可能となります。現状は、液化機2台+圧縮機1台なので、圧縮機の故障、メンテナンス時には液化運転はできません。

※2 年末年始やゴールデンウィークなど長期の休みでも、ヘリウムガスを余裕を持って回収することができ、ヘリウムガスが溢れてしまう可能性は非常に低くなります。